

## 後期高齢者医療コールセンターをご利用ください

愛知県後期高齢者医療広域連合では、後期高齢者医療制度に関するコールセンターを開設しています。保険料の算定方法や医療機関での自己負担割合など、ご不明なことがあれば次の電話番号へお問い合わせください。

### ▼コールセンター電話番号

☎0570・011・558

※通話料がかかります

### ▼コールセンター開設時間及び期間

時間 8時45分～17時15分

※土日祝、年末年始(12月29日～翌年

1月3日)は除く

※7月11日～8月30日は土日祝も開設

期間 令和9年3月31日まで

### ▼問合せ 保険課国民健康保険・医療

グループ ☎28・0917

## セルフメディケーション 自分の健康は自分で守る

「自分の健康は自分で守る」という意識を持ち、自らの健康管理に積極的に取り組むことをセルフメディケーションといいます。軽度な身体の不調はOTC医薬品(市販薬)で早めに対処したり、健診や予防接種等を欠かさずに受けることは医療費の節約にもつながります。セルフメディケーション税制により、対象となるOTC医薬品の購入費用が一定額を超えると所得控除を受

けることができます。

「お薬手帳」は、服用中の薬や服薬歴などがわかる大切な情報源です。一人ひとりに合った適切な処方や処方量の調整に用います。必ず1冊にまとめておき、医療を受ける際は忘れずに持参しましょう。

### ▼お薬手帳は1冊にまとめましょう

多くの薬を服用することにより副作用などの有害事象を起すことをポリファーマシーといいます。特に、複数の疾患の治療を受けている高齢者は、服用する薬の種類が増えることで、ふらつきや転倒、認知機能障害などを引き起こすこともあるため、注意が必要です。服薬する薬が多い場合は、薬剤師に相談しましょう。

### ▼多剤服用に注意しましょう

リフィル処方せんとは、症状が安定している場合、医師が可能と判断すれば、1回の通院で最大3回まで繰り返し使用できる処方せんのことです。2回目からは医師の診察を受けなくても調剤薬局で薬を受け取ることができます。そのため、通院負担を軽減できるだけでなく医療費の節約にもつながります。医師に相談してみましょう。

### ▼リフィル処方せんを活用しましょう

保険課国民健康保険・医療グループ ☎28・0917

### ▼問合せ

保険課国民健康保険・医療グループ ☎28・0917



## 住宅の耐震化補助制度 をご利用ください

町では、住宅の耐震化を目的に各種補助制度を設けています。耐震・減災のため、まずは無料の耐震診断をご検討ください。

### ▼無料耐震診断

昭和56年5月31日以前に着工された木造住宅について専門の診断員が耐震診断を行い、後日、結果報告書をもとに耐震改修を行った場合の概算工事費や一般的な補強のアドバイスをを行います。

### ▼その他補助制度一覧

- ・耐震改修費補助制度
- ・除却費補助制度
- ・段階的耐震改修費補助制度
- ・耐震シェルター整備費補助制度
- ・ブロック塀等撤去費補助制度
- ・瓦屋根耐風・耐震対策費補助制度

※詳しくは町ホームページまたは役場2階6番窓口まちづくり推進課までお問い合わせください。

### ▼問合せ

まちづくり推進課まちづくり推進グループ ☎28・0944

## 都市計画事業の変更 認可の縦覧

名古屋都市計画教育文化施設事業1号臨空消防学校及び名古屋都市計画公園事業5・4・106号愛知県防災公園が、国より事業の変更認可を受けま

したので、関係図書を次のとおり縦覧します。

### ▼縦覧期間

・臨空消防学校 令和11年3月31日まで  
・愛知県防災公園 令和12年3月31日まで  
(土・日曜日、祝日は除きます)

### ▼縦覧時間

8時30分～17時15分

### ▼縦覧場所

役場2階6番窓口まちづくり推進課

### ▼問合せ

まちづくり推進課防災拠点推進グループ ☎28・2463

## GW空港利用は公共交通機関で

ゴールデンウィークの混雑時期には、県営名古屋空港の駐車場が満車になり、駐車ができない場合があります。また、駐車場の混雑により航空機へのご搭乗に間に合わない場合もあります。空港を利用する際は、公共交通機関をご利用いただくことをお勧めします。



名鉄バス(株) 県営名古屋空港



あおい交通(株)

### ▼問合せ

まちづくり推進課まちづくり推進グループ ☎28・0944